

2021年8月20日

目黒区長 青木英二 様

目黒社会保障推進協議会
会長

日頃、貴区におかれましては、子ども・障害者・高齢者等の社会福祉事業や制度で
ご尽力いただいていることに敬意を表します。

私たちの団体は、憲法25条を守り充実させるために社会保障制度の充実や消費税
減税などを、国・東京都・目黒区に諸施策の遂行を求めてきました。

しかし、菅自公政権は、感染症対応の医療体制を強化するどころか、社会保障充実
のための消費税増税(10%)という国民との約束事を反故にして、①全国の公立・公
的病院の再編統合による削減計画やベッド削減の実施 ②過労死ラインの2倍にあた
る医師の長時間労働の容認 ③医療費負担の公平化という名の下で、高齢者医療費
を2倍化(2割負担)し、現役労働者の社会保険料は月々40円足らずの削減などを推
進する法案を先の通常国会で成立させました。

そして、小池都政は、①都立病院の独立行政法人化を進める姿勢を崩さず、調査費
の予算計上 ②看護師の削減実施 ③子ども・障害者・高齢者の福祉予算の削減な
どを先の都議会で可決させました。

今、私たち区民は、コロナウイルスに感染しても病院での治療すら受けられずに命を
落とす人が後を絶たない中、国や東京都は医療や公衆衛生体制の削減計画を止め
ないばかりか、オリンピック・パラリンピックを強行実施していますが、国民の健康と命を
蔑ろにする政府や都政の政策を変更することを求めています。

このため、区は国や都に下記の三つの項目について要望意見をさせていただくよう要
請いたします。

「要望項目」

- (1) 保健所を拡充設置し、医師・保健師・看護師・検査技師等を増員してください。
- (2) 公立・公的病院の再編統合「再検証リスト」を撤回し、感染症病床及びその大半
を担う公立・公的病院を拡充してください。
- (3) 都立病院の独立行政法人化を中止し、都民の健康と生命を守る病院としての
役割を果たしてください。

以 上

「協賛団体名」

東京土建目黒支部、目黒生活と健康を守る会、目黒障害児者の生活を向上させ
る会、目黒医療生活協同組合、目黒保育問題協議会、新日本婦人の会目黒支部、
年金者組合目黒支部、共同保育所コロちゃんの家、目黒民主商工会、目黒区労働
組合総連合、目黒地区労働組合協議会、目黒区職員労働組合、目黒区職員労働
組合保育園支部、東京都教職員組合目黒支部

